

ごあいさつ

代表理事 渡邊華靖

平成28年丙申歳正月を寿ぎ奉り、御祝詞申し上げます。旧年中は皆々様の御協力御支援頂き、小さい会ではありながらも諸行事も滞りなく執行出来ましたこと御礼申し上げます。この平成28年もまた會の益々の拡大発展に皆様方の御尽力を賜りたく御願ひ申し上げます。

本来旧曆正月では、立春を迎えて新春と申しますが、その立春とは、

^{こち}東風吹かば^{こち}匂ひおこせよ梅の花 あるじなしとて春なを忘れそ

紅梅殿の主、菅原道真公が都を離れ、大宰府に左遷された時に詠んだ歌です。

この梅が主人を慕って大宰府に飛び、今も「飛梅」として花を咲かせています。

本年2月4日は立春です。新曆では節分(禍をなくして春を迎える行事)の翌日となり、この日が神の正月とも呼ばれ、曆上一年の初めとされています。俗に「左近ノ桜 右近ノ橘」と言われ、春は桜として親しまれていますが、これは、仁明天皇の御世に改まったもので、それ以前は“左近ノ梅”でありました。新春正月は観梅の宴が催され、南よりの春風の前に寒風がくずれて春を呼ぶ風を「東風」と称し、梅東風とも雲雀東風とも呼ばれ、東風に誘われる様に梅が咲き始め、それに合せて春告鳥である鶯がさえずりを響かせ「ホーホケキョ ケキョ ケキョ」と続けて鳴くのを鶯の谷渡りと言います。

梅は古来より歌人・画人に愛され、新春の席を飾る吉祥の花として飾られてきました。華道では、「鶯の渡り杖」「水潜の梅」「臥龍梅」などの様に名づけられた手法がありますが、特に梅の若枝「ずわえ」をいけることが大事にされています。これは、若松が神を降し、老松が仏を迎えると同様に、新春に梅の直線的に伸びた新梢が、天に向っての祝枝として予祝を持ち、天より万物を引き出すと考えられ、長く高く用いることでより強い力をそこに期待するものであります。

梅は新春の百花に^{さきがけ}魁る花で、一年の最後を飾る菊と合せて表現した「梅は花の兄 菊は花の弟」という諺もあり、又、「桜伐る馬鹿梅伐らぬ馬鹿」(桜は枝を払うと枯れ、梅は枝を払うと繁る)、「梅の木分限 楠 分限」(梅は一年で一丈成長するが大木なく、楠は一年に一寸成長するが大木となり、早く成功する物と着実に成功する身代を現す)、「梅干と友達は古いほどよい」(古いものほど風味がこまやかになる為)等、諺にも多く登場します。

明治六年の改曆より144年を数えますが、我國の伝統を身近にして頂きたく存じます。

事務局より

事務局長 山内瀬舟

前号からの発刊が1年以上あいてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。
今回、「第5回 江戸の華會」御案内状、近江神宮 平成28年曆、雑誌「トリート」を同封いたしました。ご覧頂けますと幸いです。
なお、御案内が不要の方はお手数おかけしますがその旨お知らせ下さい。
また、退会されます方はお手数でも御一報頂けますようお願い申し上げます。

第5回 江戸の華會 開催の御案内

標記の華會を第5回展として開催いたします。

天眼禅寺は忍藩松平家の菩提寺であり、大変由緒ある寺院での華會となります。
新春を寿ぐ華會として開催いたしますので、是非共御来場頂きたくご案内申し上げます。

合わせて投扇も出来ます様に会場構成を考えております。

また、「華供養の法會」は、御住職御導師によって修められます。

【会 期】平成28年1月23日(土) 展示：午後1時～午後4時 ※開場式午後1時
24日(日) 展示：午前10時～午後3時

【会 場】楞伽山 天眼寺(りょうがさん てんげんじ)

住所：〒110-0001 東京都台東区谷中1-2-14 電話：03-3821-7718

交通：地下鉄千代田線「根津」駅下車 徒歩3分

※招待葉書を同封させて頂きました。詳しい地図はそちらを御参照下さい。

【主 催】特定非営利活動法人いけばな文化振興普及協会いけばな works (NPO いけばな works)

【後 援】東京新聞したまち支局

【華供養の法會】 1月25日(日) 午後3時～3時30分

平成28年度 事業予定

○くるめボランティア市民活動フェスタ

28年2月27日(土) 10時～15時 於：東久留米市 市民プラザ

いけばなの体験講座を開催します。

○第13回定期総会

28年5月4日(水) 於：創美流華道会館

事業報告、事業計画、収支決算、予算案についての審議。

正会員には追って総会案内を郵送させて頂きます。

○東久留米市伝統文化親子教室事業「平安文化と貴族生活 親子体験教室」

28年9月18日(日) 於：創美流華道会館

文化庁の助成事業として、十五夜行事を体験出来る1日教室を開催します。(予定)

募集定員15名。

等々予定をしております。

平成 27 年度 事業のご報告

○第 12 回定期総会

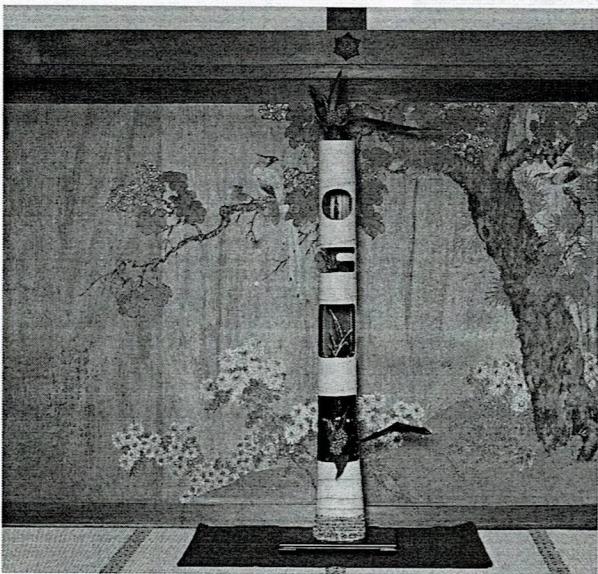
27年5月4日(月)午後2時~6時 於:創美流華道会館
事業報告、事業計画、収支決算、予算案についての審議。
年会費納入の正会員には報告書を送付済。

○第 4 回 江戸の華會

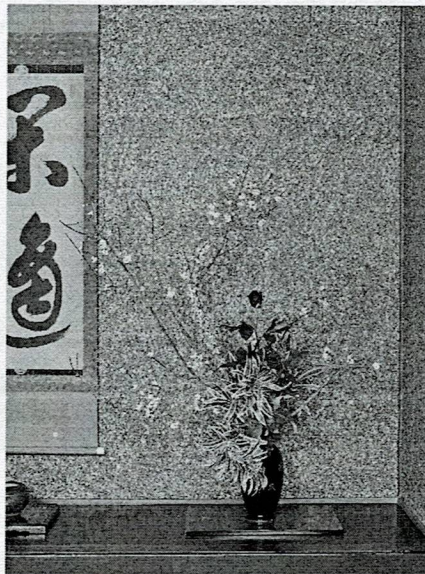
27年1月24日・25日 於:楞伽山 天眼寺(東京都台東区)

下町の寺院にて和のスタイルの華會を開催。本堂や座敷に新年を寿ぐ華をいけ、雅楽演奏と共に花のある空間を作り上げました。また、最後に華供養の法會をし、花への感謝を致しました。 後 援:東京新聞したまち支局

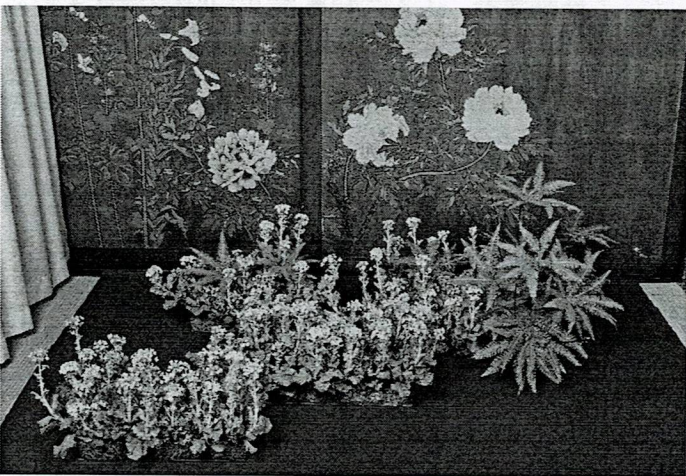
出品者:市川碧水 江原京子 岡田鳳梢 川元雄 杉本彩鳳 鈴木康子 田中詢穂
二宮峰雪 日高梅朋 三浦まきの 前川闡眞 名鏡一富 山内瀬舟
渡邊華璋 渡邊華靖 (50音順)



市川 碧水



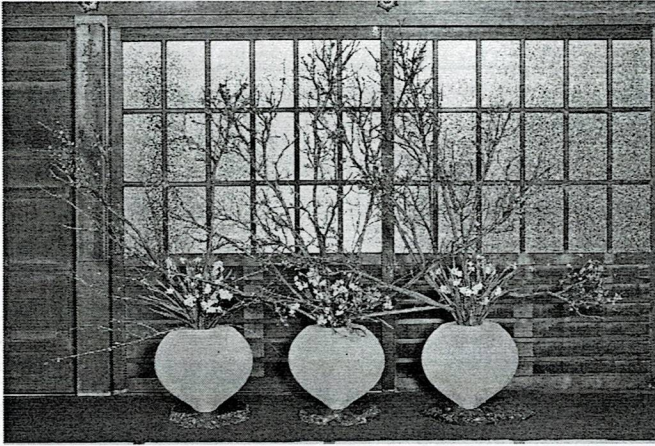
江原京子



岡田鳳梢



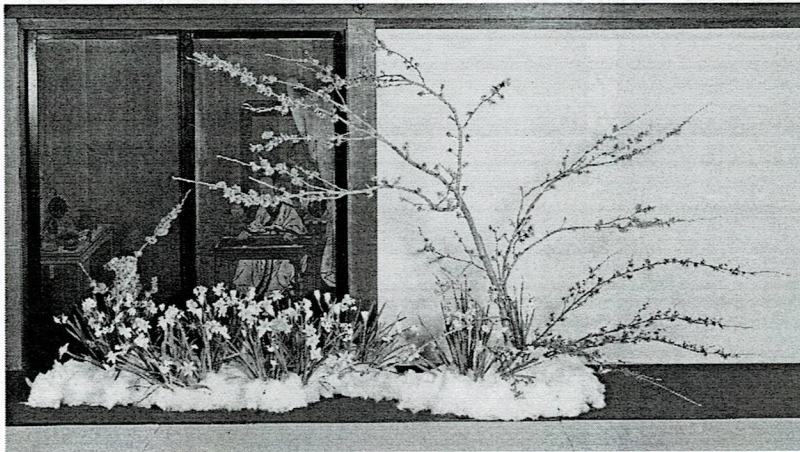
川元 雄



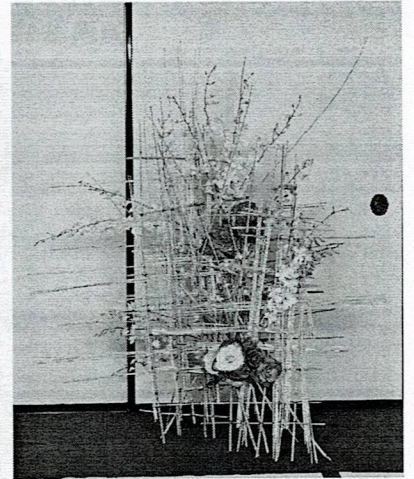
杉本彩風



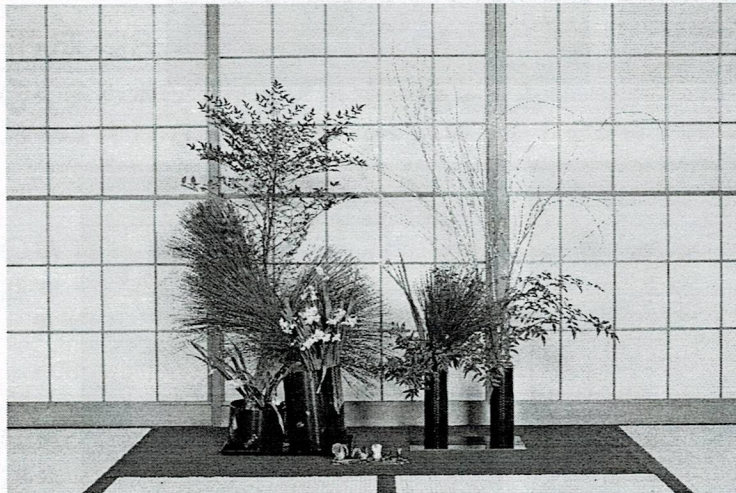
鈴木康子



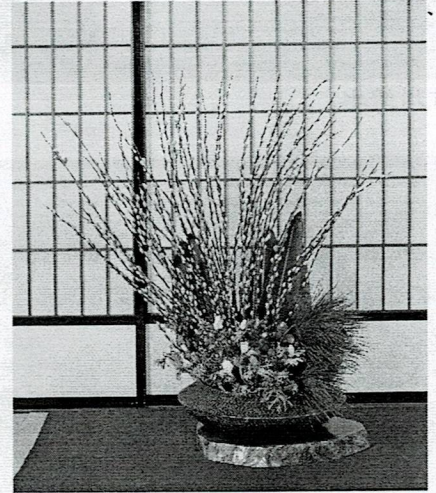
田中詢穂



二宮峰雪



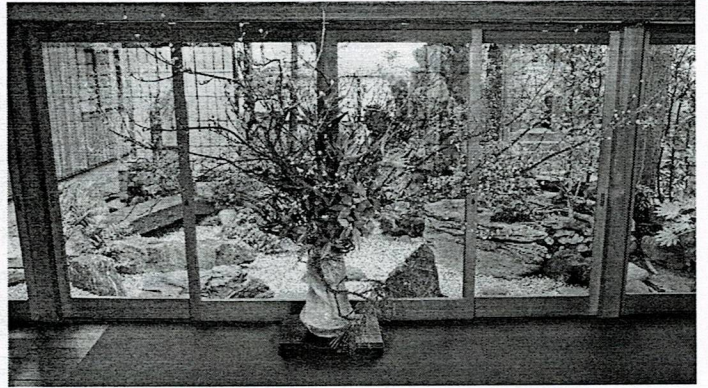
日高梅朋 三浦まきの



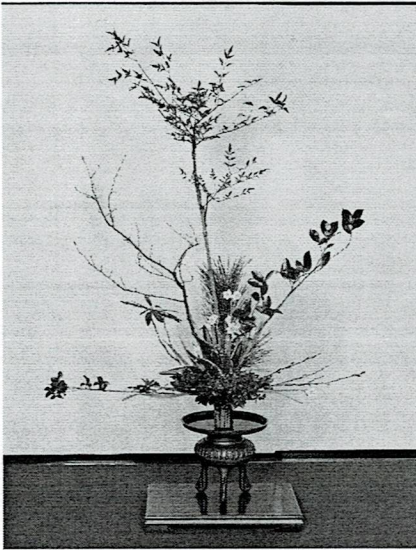
前川真諒



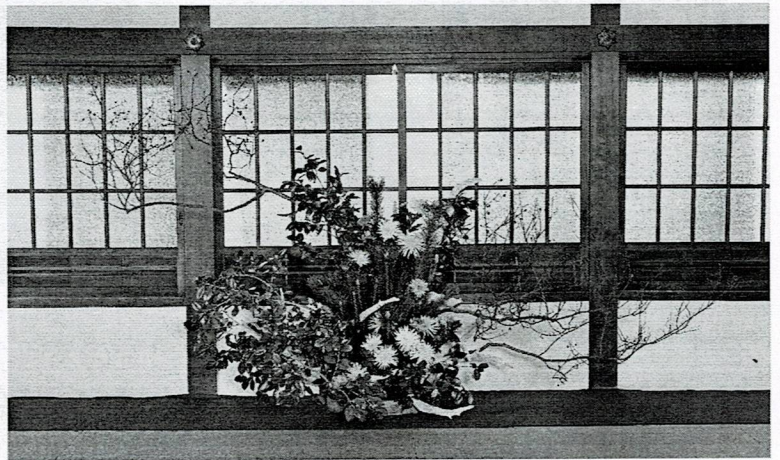
名鏡一富



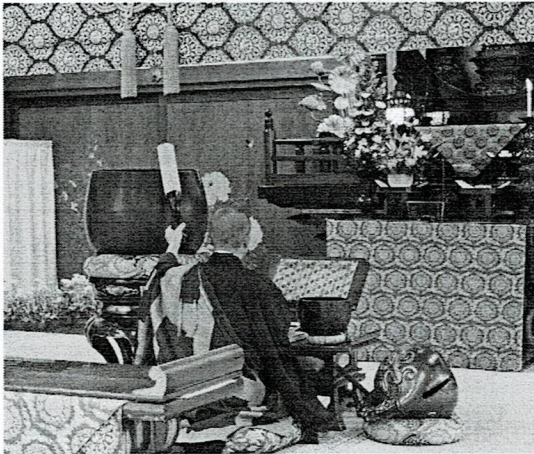
山内瀬舟



渡邊華璋



渡邊華靖



華供養の法會

地域の情報 22

したまち

東京新聞

谷中できょうから作品展
5流派15人
生け花満開



流派を越えて生け花の普及活動をするNPO法人「いけはなworks」の作品展「江戸の華会（はなえ）」(東京新聞したまち支局後援)が24、25の両日、台東区谷中1の天眼寺で開かれる。

協会には国内40流派の200人が所属。作品展には都内在住者を中心に5流派の15人が参加。マツ、ナンテン、菜の花など新春らしい

素材を使い、大正時代建立の本堂、書院の雰囲気に合わせて作品に仕上げた。国学院大神道文化学部4年の川元雄(ゆう)さん(29)＝八王子市＝は、金銀に着色したナンテンの木と、ユリの1品種カサブランカを使い、高さ2メートルほどの作品に仕上げた。開場は24日午後1～4時、25日午前10時～午後3時。入場無料。(小形佳奈)

2015年(平成27年)3月15日



いけばな Works

雅びに「江戸の華會」

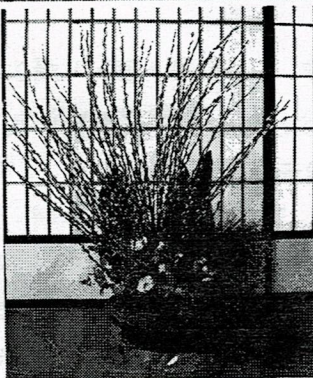
いけばな文化の普及、啓発を目的に流派を超えた有志が集う特定非営利活動法人いけばな文化振興普及協会 いけばな works (渡邊華靖代表理事・創美流華道家元) が、4回目となる「江戸の華會」を1月24・25日に東京都谷中の楞伽山天眼寺(りょうがさんてんげんじ)で新春を寿ぎ華やかに開催した。25日午後3時からは華供養の法会が東瑞芳住職のもと営まれ、参会者一同花への感謝を捧げた。後援

東京新聞したまち支局。

天眼寺は忍藩松平家の菩提寺として地域住民から親しまれ、歴代住職に華靖代表理事の縁戚が務めたことのある縁深い寺。住職は「寺社内を広



①竹の五重切りによる作品を出瓶した市川碧水さん。②前川蘭真さんの作品



- 出品者▽小原流▽江原京子▽国際いけばな協会▽鈴木康子▽草月流▽日高梅朋▽遠州流一森会▽名鏡一富▽創美流華道▽渡邊華璋、渡邊華靖、市川碧水、岡田風梢、川元雄、杉本彩鳳、田中詢穂、二宮峰雪、前川蘭真、山内瀬舟(敬称略)。

く一般に解放する行事としては唯一。回を重ねるうちに訪れる来場者も見られると笑顔を見せる。本堂では、桐の実と花

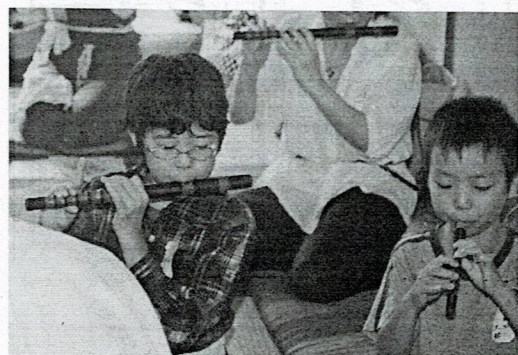
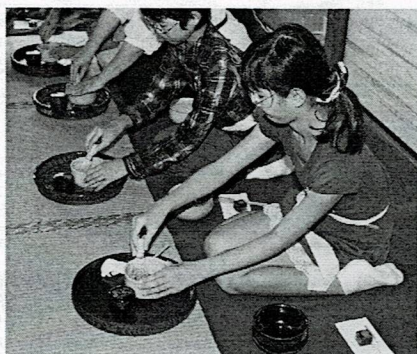
鳥が描かれた江戸期の板戸を背景に、市川碧水さんが万年青の都城と天象観2種で竹の五重切りによる生花を出瓶。花会第1回から万年青にこだわ

り、今回五重切りであり、前川蘭真さんは、スワトリーチアの葉を背景に広がりあるネコヤナギ、株元に大王松とアネモネを色彩豊かにいけこみ、力強い緑の中から新たな息吹を感じさせる作品で目を引いていた。出品者▽小原流▽江原京子▽国際いけばな協会▽鈴木康子▽草月流▽日高梅朋▽遠州流一森会▽名鏡一富▽創美流華道▽渡邊華璋、渡邊華靖、市川碧水、岡田風梢、川元雄、杉本彩鳳、田中詢穂、二宮峰雪、前川蘭真、山内瀬舟(敬称略)。

○文化庁助成事業 伝統文化親子教室事業「日本の伝統行事を学ぶ 観月祭典の体験」

27年9月27日（日）於：創美流華道会館

仲秋の名月にまつわる伝統行事を親子で体験する1日教室を開催。お月見の花をいけたり、お月見の茶会で礼法と茶道を学び、観月祭への参加の中雅楽の調べを聞いたり、実際に茶器に触れたりして頂きました。親子にて18名の参加がありました。



○NPO フェスタ in 元気村 2015

27年10月25日 於：小平元気村おがわ東

小平市内（東京都）のボランティア活動の中で、いけばなの紹介と展示を行いました。地域で学ぶ小・中・大学生の作品を主として15点の作品を展示しました。

